

令和4年度 「全国高等学校総合体育大会・徳島インターハイ2022」大会報告
会期 8月03日(水)～07日(日)の5日間 開催
会場 「鳴門・大塚スポーツパークポカリスエットスタジアム」

「徳島IH」で数々の快挙達成

紺野(九里学園高)ハードルチャンピオン誕生(2冠達成)

男子最優秀選手賞(大会 MVP)獲得おめでとう!!

U20 日本選手権覇者の紺野 稜真選手(九里学園3年・白鷹中出身)が、徳島インターハイにおいても110mH 14秒57(-3.8)と400mH 50秒46の2冠に輝く快挙を達成しました。

全競技終了後には、男子の最優秀選手に選出され、県内選手として初めて「大会 MVP」のタイトルを手に入れました。

また、男子5000mWに初出場した小浅 陽佳選手(九里学園3年・高島中出身)も自己ベストの21分20秒45で第5位入賞を果たしました。

さらに、男子4×400m決勝においては、九里学園チーム 1走:後藤 理久選手(2年・白鷹中出身)、2走:土屋 諒真選手(3年・長井南中出身)、3走:高山 登唯選手(3年・長井南中出身)、アンカー:紺野 稜真選手(3年)と繋いで、第6位入賞(3分17秒99)を果たしました。

これらの記録により、男子総合得点で第3位入賞、男子トラック得点においても第2位入賞という輝かしい記録の数々を打ち立てました。

九里学園高校陸上競技部は、今年で45年連続インターハイ出場を果たす中、長らく指導なされている監督の本田 米子先生、コーチの本田 恒一先生や顧問の鈴木 豊先生、顧問の渡部 聖太先生はじめ、陸上競技部保護者会の皆様・OB、学校関係者の皆様におかれましても、歴史に残る大会となり、大変お喜びであったかと思えます。

当地区をはじめ県内はもとより、全国の陸上競技関係者に与える影響もあり、この度の大会成績結果は、特に若い競技者の目標となりました。

今後も、地区内から全国トップ選手の育成を図り、全国で活躍できる選手や指導者を望むものです。

最後になりますが、皆様方の日頃の努力と精進を称えここにご報告いたします。

「素晴らしいご活躍おめでとうございます!!」

令和4年8月吉日

米沢市陸上競技協会一同